

*** 4月号 (その1) ***

藤沢清流高校は開校9年目の春を迎えました。新入生278名を迎え、入学式・始業式・離着任式などの式典や対面式・交通安全講話・携帯電話講話・新入生歓迎会などが行われ、校内が活気づいています。

◆着任式・始業式が行われました

4月5日(木)、着任式が行われ副校長を始め13名の新しい職員が紹介されました。続いて始業式が行われ、生徒は新たなスタートを切りました。勉強や部活動など学校生活全てに粘り強く取り組み、最後まで諦めない気持ちを持って高校生活を送ってほしいと思います。



◆平成30年度入学式が挙行されました



4月6日(金)、平成30年度入学式が行われ、新入生278名が藤沢清流高校の門をくぐりました。新入生一人ひとりが呼名され、校長、PTA副会長、新入生代表のことはと続き、式は厳かな雰囲気の中で進められました。式終了後、女子サッカー部、陸上部、野球部の生徒がステージに上がり校歌を紹介し、元気いっぱい新入生を迎えました。

◆社会人聴講生開講式が行われました

4月5日(木)、社会人聴講生開講式が行われました。社会人聴講生とは、高校生とともにその学校の授業を受けることができます。本年度藤沢清流高校では、陶芸、書道、素描、映像表現、スペイン語と文化、美術館学、心理学など特色ある授業にのべ11名の社会人を迎えました

◆対面式、1年次生対象の交通安全講話と携帯電話講話が行われました

4月9日(月)、生徒会主催による対面式が行われました。1年次生と2・3年次生が対面し、お互いの挨拶の後、1年次各クラス代表にホワイトボードが贈られました。

1年次生対象に交通安全講話と携帯電話講話が行われました。交通安全講話は、県の交通安全教育委員の方が講師を務めてくださいました。藤沢清流高校には多数の生徒が自転車で登校しています。2015年の道路交通法の改正で自転車の危険運転などの違反の場合、罰金が科せられることになりましたが、罰金刑を科せられた時には高校卒業後の進路選択にも影響が出る可能性があるという現実的な話には生徒も驚きの表情を隠せない様子でした。スマホを操作しながら、音楽を聴きながら自転車を運転する若者を最近よく見かけることがありますが、交通安全意識をしっかりと持ち、特に自転車の乗り方には十分注意してほしいと思います。携帯電話講話は、電話会社KDDIの方が講師を務めてくださいました。いじめや誹謗中傷につながりかねないケースなど、いつ被害者・加害者になってしまうかもしれないSNSの持つ危険性についてお話していただきました。午後には新入生歓迎会と部活動紹介が行われました。日頃の練習の成果を披露したり、実際の練習をやって見せたりそれぞれの部活動に工夫が見られ、2・3年次生から新入生に部活への熱心な勧誘がありました。



◆「みんなのリーダーシップ入門」の授業が始まりました

4月16日(月)、昨年度より新たに1年次生の必修科目として設置した「みんなのリーダーシップ入門」の授業が始まりました。まず、生徒の名前順の出席番号ではなく、ファーストネームの50音順で並び、グループを作るというコミュニケーションからスタート。自分から積極的に情報を発信しないとスムーズに並べません。そして次に5人のグループの一人ひとりに配られたカードの情報を頼りに、情報を組み立てるグループワークトレーニングにより今までは違う「リーダーシップ」の考え方を教わりました。「目標共有」「率先垂範」「同僚支援」の三つの行動を意識して「世界標準のリーダーシップ」がどのようなものであるかを学び、一人ひとりが様々な場面でリーダーシップを発揮して、将来社会に出たときにも活躍できる人材になれることを最終目標としています。(文責 副校長・吉田)